

厚生文教委員会行政視察報告書（令和 5年 11月 8日）

日 時：令和 5年 11月 8日（水）
視 察 先：埼玉県白岡市
視察事項：『 部活動の地域移行の取組について 』
内 容 埼玉県東部に位置し、水田や梨園が広がる人口5万人の白岡市。部活動の地域移行のモデル地域として2021年から動き出し、昨秋から市内4校のうち南中学校と菁莪（せいが）中学校の2校で休日の部活動を地域クラブ活動とし、地域指導者が担っています。来年度には残りの2校も移行する予定とのことです。生徒や教員などにアンケートを実施し、当事者の声を生かして民間と連携して取り組まれています。 市内中学校における持続可能な部活動の実現とともに、部活動における教職員の負担軽減を図ることを目的として、休日に行っている中学校の部活動を地域移行し、兼職兼業している教職員及び白岡市在住の該当競技の経験者、元プロの選手だった方が指導しています。 また、地域クラブ活動の運営、指導者の確保、受益者負担、課題の整理及び検証などについて、白岡市地域クラブ活動運営協議会を設置し、検討されていることなどを調査しました。
視察を終えて 平日は学校の部活動で、休日の部活動を地域移行にしている。こういう形態が現場のニーズと、また地域クラブ活動を進める根拠に沿ったものであったと感じました。そのことで、生徒も平日と休日とで違う部活動に参加できるというメリットがあり、これは生徒の可能性を伸ばす上で、非常に歓迎すべきことではないかと感じました。 また、新たな価値を付けようと、生徒へのアンケートで「やってみたい部活動」の上位だったダンスとプログラミングで4校合同の地域クラブを立ち上げ、月2・3回の活動を外部指導者が指導しており、素晴らしい取組である。 その時、その時の生徒の関心や流行など、様々なので、オンタイムで生徒のやりたいことに応えられるという、その柔軟な発想と方法、これを取られたのが非常に素晴らしいことだと感じました。 そして、情報アプリを利用することで、会員管理や連絡網、活動スケジュール共有などを同一プラットフォーム上で一元管理することができ、かつ業務効率化を図ることが可能となっているので、保護者・生徒もまた、スマホアプリで簡単に、お休みの連絡やスケジュール確認を行うことができることなども学ぶことができ、とても参考になりました。

※視察の資料等については、議会事務局に保管してあります。